

休 炉 点 検 表

※機器点検・清掃は必ず1組につき2人以上で行う。
 ※機器の清掃を行う場合は主電源(ブレーカ)を切ってから実施する。
 ※機器の空運転を行う場合は中央操作盤から操作せず必ず現場にて実施する。
 ※機器の清掃・点検の際は中央操作盤及び各点検箇所に点検中等の札を掲げる。
 ※保護具(ヘルメット・マスク・ゴーグル・安全帯・手袋・タイベックなど)は必ず着用する。

2025/6/22

機器設備名	点 検 内 容	作業完了 確認	点検者名
高架煙道 ※マンホールを開ける	耐火物の脱落・焼損・摩耗の有無	—	
	(損耗箇所は耐火物補修を実施) 完全に除去できず。		
	閉塞の確認	—	
	(堆積している灰の清掃除去を実施)		
	熱電対の確認 (焼損していた場合は交換)	—	
二次燃焼室 ※マンホールを開ける	耐火物の脱落・焼損・摩耗の有無	—	
	(損耗箇所は耐火物補修を実施)		
	遮へい板の確認	—	
	(遮へい板上部と壁面耐火物の間に堆積している灰の清掃除去を実施)		
	熱電対の確認 (焼損していた場合は交換)	—	
燃焼室 ※マンホールを開ける	耐火物の脱落・焼損・摩耗の有無 (滑り面下部 キヤスター20kg)	—	
	(損耗箇所は耐火物補修を実施)		
	燃焼室直胴部のクリンカ付着の確認 クリンカ落とし	—	
	(クリンカが付着していた場合は清掃除去を実施)		
	熱電対の確認 (焼損していた場合は交換)	—	
	炉内監視カメラの確認 (クリンカ除去)	—	
	(カメラの出代を確認し、耐火物の脱落・焼損があった場合、耐火物補修を実施)		
	検視扉及び台座の確認	—	
	(水漏れの有無、有りの場合は肉盛り溶接等で補修を実施)		
	炉圧検出器の確認 (台管・配管の清掃を実施)	—	
燃焼室下部 ※ストーカマンホールを開ける	内部ケーシングの焼損・摩耗の有無	—	
	(堆積した灰の清掃除去を実施)		
	(腐食状況(破孔等の有無)により鉄板パッチ当て溶接等の補修を実施)		
	支持板、火格子、保護板の焼損・摩耗の有無	—	
	(支持板・火格子の開閉を行い、マンホールの外より実施)		
	給水層(ボールタップ)の確認 内部清掃 (ケレン)	—	
	(沈殿した灰及びスクリーン)の清掃の実施)		
ガス冷却室上部 ※2カ所マンホールを開ける	耐火物の脱落・焼損・摩耗の有無 東南側 付着物除去	○	西岡
	(付着している灰の清掃除去を実施)		
	一流体・二流体ノズル台管周りの確認 クリンカ除去	○	西岡
	(灰の付着していた場合は、清掃除去を実施) 耐火レンガ研り		
ガス冷却室下部 ※マンホールを開ける	耐火物の脱落・焼損・摩耗の有無	○	山田
	(堆積している灰の清掃除去を実施)		
	(損傷箇所があった場合は耐火物補修を実施)		山田
集じん装置上部(クリーンルーム) ※上蓋及び点検口を開ける	クリーンルーム内確認 ろ布点検	—	
	(飛灰・薬品の漏れがないか確認する)		
	内部ケーシング・ブローチューブの腐食の確認	—	
	(腐食があった場合は耐熱さび止め塗装でのタッチアップの実施)		
	※クリーンルームに入る際は、ろ布内に物を落とさないよう 予め対処する) 内部パルス管点検	—	
	ブローチューブ、払落し噴射口の確認 (手鏡等を使用して、噴射口が閉塞していないか確認)	—	
薬品噴霧ノズル・ダンパ	ノズルに付着した灰の除去	—	
	ダンパ動作確認 煙道付着物除去		

